

平成20年度当初予算 重点的な取組別概要
<みえの舞台づくりプログラム>

元気2：若年者の自立支援プログラム（主担当部：生活部）

<プログラムの目標>

若年者が自己の意欲、能力に応じて経済的かつ社会的に自立し、自己実現をはかることができるように、家庭、学校、NPO、企業、行政等の多様な主体の連携による地域全体で若年者を包括的に支援するしくみが構築されています。

<構成事業（担当部）>

- (1) 自分発見！中学生・地域ふれあい事業（生活部）
- (2) 【再掲】学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業（教育委員会）
- (3) 若者自立総合支援事業（生活部）
- (4) ニートサポート事業（生活部）
- (5) ひきこもる若者の自立支援事業（健康福祉部）
- (6) 若者就職総合サポート事業（生活部）
- (7) 産業人材育成事業（生活部）
- (8) 若者ワーキングサポート事業（生活部）

(2)の事業は、重点事業「元気1・『人間力』の向上/みえの人づくり」の構成事業を一部再掲。

<プログラムの想定事業費>

（単位：千円）

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
114,856	(121,000) 106,516	121,000	122,000

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

<構成事業の目標>

目標項目	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	
(1) 県内全中学校に対する事業実施校の割合	目標値	-	73.3%	77.2%	81.1%	85.0%
	実績値	69.4%				
(3) 若者自立支援センター利用者数	目標値	-	380人	630人	870人	1,070人
	実績値	-				
(4) 講演会およびセミナー参加者数	目標値	-	130人	140人	150人	160人
	実績値	122人				
(5) ひきこもり相談件数	目標値	-	220件	240件	260件	280件
	実績値	199件				
(6) 若年者の就労に向けた支援件数	目標値	-	28,500人	28,500人	28,500人	28,500人
	実績値	28,457人				
(7) 教育訓練生の就職率	目標値	-	87%	88%	89%	90%
	実績値	86.9%				
(8) 高等学校卒業者の就職後1年以内の離職率	目標値	-	23%	23%	22.5%	22%
	実績値	23%				

<進捗状況（現状と課題）>

- ・ニートと呼ばれる若年無業者の自立を支援するため、平成 19 年 9 月に「若者自立支援センター」を開設し、さまざまな課題を抱え、自立が困難な若年者やその家族に対して、自立に向けた相談や支援情報の提供などを行っています。
- ・地域全体で若年者を包括的に支援するしくみを構築するため、地域の多様な主体が連携しながらその役割を果たすとともに、若年者自身も自ら意欲を持ち、社会参加していくことが求められています。

<平成 20 年度の取組方向>

家庭、学校、地域の事業所等の多様な主体と連携して、中学生の職場体験事業を実施し、生徒の勤労観や職業観を醸成します。

若年無業者やその家族に対して、相談や支援情報の提供を行うとともに、早期の社会参加に向けた就労体験を実施します。また、市町と連携して、地域における支援者のユースサポーター、ユースアドバイザーを育成します。

ハローワーク等と連携して、「おしごと広場みえ」を拠点に、職業相談やキャリアカウンセリング、就職に向けたセミナーの開催、職業紹介等を行い、若者の早期就職を支援します。

地域において、若者の早期離職防止のための対策を検討するとともに、働くことの意義やルールを記載したハンドブックを作成・配布することで、就職後の雇用トラブルを未然に防止します。

<他の主体の参画内容>

- ・地域の事業所等は、中学生の職業観・勤労感を醸成するための職場体験事業に協力します。
- ・こころの健康センター等若者の自立を支援する機関は、ネットワークを構成し、地域全体で若者の就労を包括的に支援するしくみづくりに取り組みます。
- ・大学や三重労働局等の機関は、相互に連携して、若年求職者の就職を支援します。
- ・ハローワーク、労働団体、商工会議所等は、連携して、若者の早期離職防止対策に取り組みます。

<主な予算要求事業>

自分発見！中学生・地域ふれあい事業【20 年度予算額 9,558 千円】(事業(1))

地域において「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めるとともに、中学生の「生きる力」を育むため、地域ぐるみで生徒の職場体験事業を実施します。

若者自立総合支援事業【20 年度予算額 10,347 千円】(事業(3))

自立に困難を抱える若者を中心に、個人の状態に応じた包括的・継続的な支援を行うとともに、地域における支援情報の提供やこころの健康センター等支援機関への案内などの役割を担うユースサポーター、ユースアドバイザーを育成します。

若者就職総合サポート事業【20 年度予算額 23,538 千円】(事業(6))

三重労働局との連携により運営している「おしごと広場みえ」において、雇用関係情報の提供、職業相談、キャリアカウンセリング、就職セミナーの開催、インターンシップの推進、職業意識啓発、職業紹介など総合的なサービスをワンストップで提供します。

若者ワーキングサポート事業【20 年度予算額 10,323 千円】(事業(8))

若者の早期離職を防止するため、高校、経済団体、企業等の関係機関が連携をはかり、早期離職原因の調査・検討を行います。また、就職後の雇用トラブルの未然防止に取り組むため、働くことの意義やルールを記載したハンドブックを作成・配布します。